

令和3年度 業績優秀者返還免除申請書

令和 年 月 日

独立行政法人
日本学生支援機構理事長殿

本申請書記載事項に相違ありません。
免除認定を受けた場合、認定後において日本学生支援機構が免除認定者の職業や業績等について調査を行うときにはその調査に協力することに同意のうえ、特に優れた業績による返還免除を申請します。

フリガナ
氏 名

大 学 院 名				
課 該 当 の 課 程 の □ を ■ に して ぐ だ さい	<input type="checkbox"/> 修士（博士前期）課程	<input type="checkbox"/> 専門職学位課程	<input type="checkbox"/> 博士（博士後期）課程	
研 究 科 名 ・ 専 攻 名			学 籍 番 号	
奨 学 生 番 号	6	0 6	生 年 月 日	昭 和 平 成 年 月 日

大学院における研究課題等

概 要	
--------	--

業績の種類

- 業績を証明する資料（申請者の氏名が確認できるもの）を添付し、申請書に書かれた資料番号を付記してください。
- 必要に応じて行を挿入してください。行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になっても構いません。
- 返還免除内定者の方は「1. 学位論文その他の研究論文」に記載してください。

業績の種類				資料番号	学校 確認欄	
1	学位論文 その他研究論文	学位論文				
		研究論文	査読付き 原著論文	受賞 ・表彰	※査読付き原著論文の有無、論文・学会で受賞・表彰は左欄に○を記載してください。	
		学会での発表				
		論文及び学会での発表により受賞または表彰による機構以外の給付奨学金の獲得や外部資金の獲得				
日本学術振興会の特別研究員に採用、または、民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退						

業績の種類		資料番号	学校 確認欄
2	大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	大学院設置基準第16条は修士課程の修了要件に関する規定であるため、本項目に博士（後期）課程は該当しません。	
3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	大学院設置基準第16条の2は博士課程の前期の課程の修了要件に関する規定であるため、本項目に博士（後期）課程は該当しません。	
4	(専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)		
5	発明		
6	授業科目の成績		
7	研究又は教育に係る補助業務の実績		
8	(専攻分野に関連した)音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績		
9	(専攻分野に関連した)スポーツの競技会における成績		
10	(専攻分野に関連した)ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)		

令和3年度 業績優秀者返還免除申請書

令和 年 月 日

独立行政法人

日本学生支援機構理事長殿

本申請書記載事項に相違ありません。

免除認定を受けた場合、認定後において日本学生支援機構が免除認定者の職業や業績等について調査を行うときにはその調査に協力することに同意のうえ、特に優れた業績による返還免除を申請します。

フリガナ

氏 名

大 学 院 名

課 程
該 当 の 課 程 の □ を
■ に し て く だ さ い

修士（博士前期）課程

専門職学位課程

博士（博士後期）課程

研 究 科 名 ・ 専 攻 名

学 籍 番 号

奨 学 生 番 号

6 0 6

生 年 月 日

昭 和 平 成 年 月 日

大学院における研究課題等

概要

業績の種類

- (1) 業績を証明する資料（申請者の氏名が確認できるもの）を添付し、申請書に書かれた資料番号を付記してください。
(2) 必要に応じて行を挿入してください。行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になっても構いません。
(3) 返還免除内定者の方は「1. 学位論文その他の研究論文」に記載してください。

Table with 5 columns: 業績の種類, 資料番号, 学校確認欄, and two sub-columns for 学位論文. Rows include 学位論文, 研究論文, 学会での発表, 論文及び学会での発表により受賞または表彰による機構以外の給付奨学金の獲得や外部資金の獲得, and 日本学術振興会の特別研究員に採用、または、民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退.

業績の種類		資料番号	学校 確認欄
2	大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究成果	大学院設置基準第16条は修士課程の修了要件に関する規定であるため、本項目に博士(後期)課程は該当しません。	
3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	大学院設置基準第16条の2は博士課程の前期の課程の修了要件に関する規定であるため、本項目に博士(後期)課程は該当しません。	
4	(専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)		
5	発明	※特許登録済、特許出願中、実用新案登録済及び実用新案出願中の区分を記載し、発明(考案)者名、出願番号、出願日、特許番号、実用新案番号、登録日等を記載してください。	
6	授業科目の成績	成績証明書 ●●証明書など	6-1 ✓ 6-2 ✓
7	研究又は教育に係る補助業務の実績	※複数の期間にわたって同様の補助業務を行っているが、複数の期間でも一期間でもひとつの業績として評価される場合は、一期間の業績のみにしてください。複数の期間の記載及び資料の添付は不要です。	
8	(専攻分野に関連した)音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	※発表会等の名称、開催日、開催場所、順位(●●人中●位)などを記載してください。 ※発表会等がどのような内容であるか、国際的レベル・国内的レベルであるか、どのような人を対象とするか、などについて記載してください。	
9	(専攻分野に関連した)スポーツの競技会における成績	※競技会等の名称、開催日、開催場所、順位(●●人中●位)などを記載してください。 ※競技会等がどのような内容であるか、国際的レベル・国内的レベルであるか、どのような人を対象とするか、などについて記載してください。	
10	(専攻分野に関連した)ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)		

令和3年度 業績優秀者返還免除申請期間延長届

(様式3)

令和 年 月 日

独立行政法人

日本学生支援機構理事長殿

本届記載事項に相違ありません。
新型コロナウイルス感染症の影響により業績優秀者返還免除申請期間を1年を限度に延長することを申請します。

フリガナ

氏 名

大 学 院 名						
課 程	<input type="checkbox"/>	修士（博士前期）課程	<input type="checkbox"/>	専門職学位課程	<input type="checkbox"/>	博士（博士後期）課程
該 当 の 課 程 の □ を ■ に し て く だ さ い						
研 究 科 名 ・ 専 攻 名				学 籍 番 号		
奨 学 生 番 号	6		0	6	生 年 月 日	昭 和 年 月 日 平 成

延 長 理 由	
------------------	--

- 注1) 本申請は、新型コロナウイルスの影響により、在学期間が延長する方の申請となります。課程を修了または退学等により在学期間が終了した方は、貸与終了時の特に優れた業績による返還免除の申請をしてください。
- 注2) 本申請が認められた場合は、該当の第一種奨学金の貸与終期を1年を限度として延長（延長期間中の奨学金の交付はありません）した後に奨学金を辞退する処理を行います。
これにより、令和4年度貸与終了者として令和4年度の返還免除申請が可能となります。

以下は、学校記入欄

本申請について、下記□を■にしてください。

今年度（令和3年度）業績優秀者返還免除申請期間延長届をはじめて申請します。	<input type="checkbox"/>
昨年度（令和2年度）業績優秀者返還免除申請期間延長届の申請をしました。	<input type="checkbox"/>

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。

（学校の証明） 令和4年 月 日
学 校 名

関係課長（※）

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

電話番号（担当者名）	学校番号	区分
— — ()	⋮ ⋮ ⋮ ⋮ ⋮	⋮ ⋮ ⋮

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務（返還業務を含む）及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。